

DERWENT- 1997-158989
ACC-NO:

DERWENT- 199715
WEEK:

COPYRIGHT 2007 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Holding arm cover for nesting prevention of e.g. bird,
snake - has cylindrical body provided with cross arm.
abutment parts and semicircular notch on its sides, which
is mounted on utility pole using set of fixing bands

PATENT-ASSIGNEE: MEISHIN DENKI KK[MEISN]

PRIORITY-DATA: 1995JP-0205189 (July 18, 1995)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE	PAGES	MAIN-IPC
<u>JP 09028268 A</u>	February 4, 1997	N/A	004	A01M 029/00

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO	APPL-DATE
JP 09028268A	N/A	1995JP-0205189	July 18, 1995

INT-CL (IPC): A01M029/00

ABSTRACTED-PUB-NO: JP 09028268A

BASIC-ABSTRACT:

The cover has a half-cylinder body part (1) which is provided on one side with a cross arm abutment part (2). The other side is provided with a notch (4) of a semicircle shape which is provided with several radial cuts. The cuts which are formed at equal intervals form several bending tongues (6) which abuts the periphery of a utility pole (p) during an installation of the cover.

Two pairs of opposing long slots at the corner part of the cross arm abutment part are provided for insertion of corresp. fixing bands (9).

ADVANTAGE - Allows inexpensive mfg. of cover due to its simple structure. Offers simple attachment by using only two pieces. Reliably prevents nesting materials of birds or crawling of snakes on electric lines thereby maintaining supply of electric power.

CHOSEN- Dwg.2/3
DRAWING:

TITLE- HOLD ARM COVER NEST PREVENT BIRD SNAKE CYLINDER BODY CROSS
TERMS: ARM ABUT PART SEMICIRCULAR NOTCH SIDE MOUNT UTILISE POLE
SET FIX BAND

DERWENT-CLASS: P14

SECONDARY-ACC-NO:

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N1997-131321

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平9-28268

(43)公開日 平成9年(1997)2月4日

(51)IntCl⁵

A 0 1 M 29/00

識別記号

庁内整理番号

F I

A 0 1 M 29/00

技術表示箇所

E

審査請求 有 請求項の数1 F D (全 4 頁)

(21)出願番号 特願平7-205189

(22)出願日 平成7年(1995)7月18日

(71)出願人 000243939

名伸電機株式会社

愛知県名古屋市昭和区鶴舞2丁目5番6号

(72)発明者 小川 一郎

岐阜県岐阜市天神町1番地

(72)発明者 中村 充秀

福岡県筑後市大字前津838番地の29

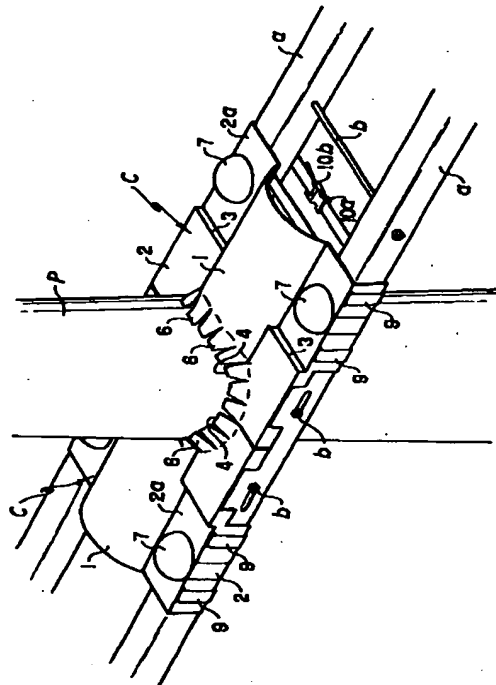
(74)代理人 弁理士 伊藤 毅

(54)【発明の名称】 営巣防止用抱きアームカバー

(57)【要約】

【課題】 構造が簡単でしかも電柱上の腕金位置に取り付けが容易な鳥の営巣を防止する営巣防止用抱きアームカバーを提供する。

【解決手段】 半円筒形をなした本体部1の巾方向両端に腕金当接部2、2を連設し、本体部1の一方端に電柱Pの外周に当接させる半円形の切り欠き4を設け、各腕金当接部2、2間を取付バンド9で締め付けて固定するように形成した腕金カバーCを二個を一組とし、各腕金当接部2、2を腕金a、aに覆せ、本体部1の切り欠き4を電柱Pに挟み付けた状態で、取付バンド9を締め付けて固定させることにより電柱周りをすっぽりと覆わせる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 所要の半径と長さを有して半円筒形をなす本体部の巾方向両端に断面鉤形状をなす腕金当接部を連設し、前記本体部の長手方向一端に平面半円形の切り欠きを設けると共に、該切り欠きの側縁沿いで本体部に所要の深さの切込溝を等間隔に多数放射状に設けて折曲自由の舌片を形成し、前記腕金当接部の角部沿いで対向位置させて長溝を割設してこれらの長溝に取付バンドを挿通して構成される営巣防止用抱きアームカバー。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、電柱を挟んで電柱上部に平行に取り付けられている腕金を利用して、電柱周りを覆うように装着させて鳥類の営巣を防止して、配電線事故を防止する営巣防止用抱きアームカバーに関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来、電柱上部に鳥が営巣して配電線事故を起こすのを防止するために、棒状のバリヤーを放射状に林立させた鳥害防止具を腕金上に複数取り付けたりしているが、電柱周りをすっぽり覆って鳥害等を防止するようにしたものではなかった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】このようにバリヤーを多数放射状に林立させた従来の鳥害防止具はバリヤーが嵩張って取り扱いににくい上に、アームに取り付け固定するのに手数が掛かり、しかも、複数個を並べて取り付けねばならないといった煩わしさがあつた。そこで本発明は、構造簡単で取り扱い易く、しかも電柱周りをすっぽりと覆った状態に簡単に取り付け固定できる営巣防止用抱きアームカバーを提供することを目的としている。

【0004】

【課題を解決するための手段】半円筒形をなした本体部の巾方向両端に腕金当接部を連設し、本体部の一端に電柱外周に当接させる半円形の切り欠きを設け、各腕金当接部間を取付バンドで締め付けて固定するように形成した腕金カバーを二個を一組とし、各腕金当接部を二本の腕金に覆せ、本体部の切り欠きを電柱に挟み付けた状態で、取付バンドを締め付けて固定させることにより電柱周りをすっぽりと覆わせて使用される。

【0005】

【発明の実施の形態】以下に本発明の実施の形態を図面と共に説明する。図1は本発明に係わる営巣防止用抱きアームカバーの斜視図であり、図において1は所要の半径と長さを有して半円筒形に形成された本体部であり、該本体部1の巾方向両端に断面鉤形状をなす腕金当接部2、2を対称状に連設して、ポリエチレン樹脂材により一体に形成される。これらの各腕金当接部2、2の強度を増し形態を安定させるために上面2a、2aの長手方

向ほぼ中央に段差3、3を設けている。そして、段差3、3により上面を高くした方で本体部1の端部に平面半円形の切り欠き4を設けると共に、該切り欠き4の側縁沿いで本体部1に所要の深さの切込溝5を等間隔にて多数放射状に設けて舌片6を形成している。前記各腕金当接部2、2の上面2a、2aのほぼ中央に半球形をなし内部が空洞の突出部7、7を突出させている。さらに各腕金当接部2、2の角部沿いで間隔を隔てた二箇所にそれぞれ対向位置させて水平な長溝8、8を開設し、対向する長溝8、8に取付バンド9を挿通させる。これらの取付バンド9は長さが自由に調節できるようになっており、両先端に形脱自由に係合する雌雄一對をなす係合部材10a、10bを取り付けている。

【0006】次にこのように形成した本発明に係わる営巣防止用抱きアームカバーの使用について説明する。この営巣を防止する腕金カバーCは二個を一組として使用される。図2及び図3に示すように電柱Pの上部に腕金a、aが連結ボルトbを介して平行に固設されている。各営巣を防止する腕金カバーC、Cはそれぞれ本体部1の一端に設けた半円筒形をなす切り欠き4を図2に示すように電柱Pの両側から電柱Pに向け、各腕金当接部2、2を腕金a、a上に覆せて摺動させて各切り欠き4、4で電柱Pを挟み付ける。

【0007】この際に、電柱Pの外径が各切り欠き4、4の半径より大きいときは、各切込の溝5が開いて各舌片6が屈曲して図2及び図3に示すように立ち上がって電柱P外周面に密着して当接する。この状態で、各腕金a、a上にボルト・ナット等の締付具12が突出しているときは該締付具12が突出部7、7内に収容されて、腕金カバーCが電柱Pの周囲と腕金a、aを覆うため腕金当接部2、2に挿通された各取付バンド9の長さを調節して、雌雄一對をなす係合部材10a、10bを結合させることにより、腕金カバーCの取り付けを完了する。

【0008】このようにして二個の腕金カバーC、Cを電柱Pを挟むようにして取り付け固定することで電柱P周りをすっぽり覆うことができ、鳥が営巣のために木の枝等の営巣材を本体部1上に持ち込んでも、本体部1は半円筒形をなしているために、一時的に本体部1上に乗っても営巣するまでに風等によって下に落下してしまうために営巣することができない。さらに実施態様のように営巣を防止する腕金カバーCをポリエチレン樹脂で形成することで滑り易くして営巣を一層困難にすることができる。また、電柱Pの外径に応じて腕金a、aの間隔が異なっても腕金カバーCの半円筒形に形成された本体部1の巾が弾性によって伸縮できるため腕金当接部2、2の間隔は腕金a、aの間隔に対応させて調節して固定することができる。このように本発明の営巣防止用抱きアームカバーは、電柱Pの外径が異なり、腕金a、aの間隔が異なるものにも常時対応して使用することが

できる。

【0009】

【発明の効果】以上に述べたように本発明に係わる営巣防止用抱きアームカバーは、構造簡単で低コストに製造できてさらに取り付け固定が簡単であり、二個を一組として使用することで電柱周りをすっぽりと覆って鳥が営巣をするため樹木の枝等を腕金カバー上に運び込んでも、腕金カバーの本体部が半円筒形に形成されているため営巣材は滑落して鳥が営巣するのを防止することができると共に蛇が登はんするのを防止して配電線事故の発生を確実に防止することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係わる営巣防止用抱きアームカバーの斜視図。

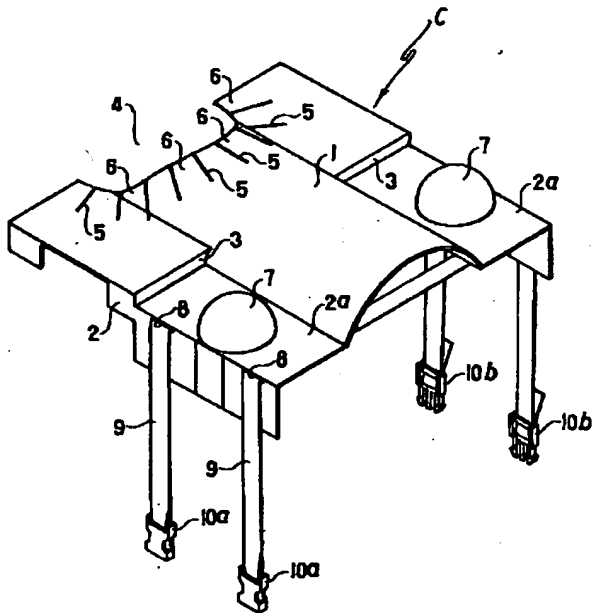
【図2】使用状態の斜視図。

【図3】図2の断面図。

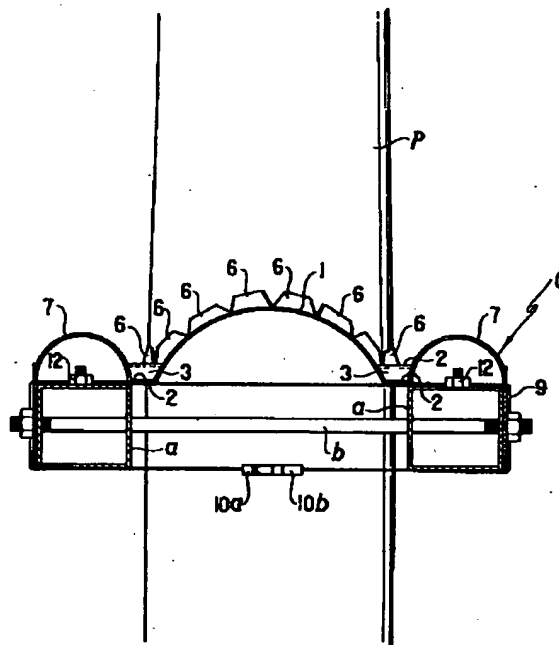
【符号の説明】

- | | |
|------|-------|
| 1 | 本体部 |
| 2, 2 | 腕金当接部 |
| 4 | 切り欠き |
| 5 | 切込溝 |
| 6 | 舌片 |
| 8, 8 | 長溝 |
| 9 | 取付バンド |

【図1】



【図3】



【図2】

